

# 景観形成と関連施策との連携に係る 推進状況について

令和元年度

第1回景観行政と関連施策との連携に関する特別部会

令和2年(2020年)1月15日開催

北海道建設部まちづくり局都市計画課

基本計画・景観グループ

## ○「景観行政と関連施策との連携に関する特別部会」とは

平成31年(2019年)3月に策定(見直し)した「北海道景観形成ビジョン」の「重点的な取組」とした「基本方針1 関連施策等との連携によりめざす良好な景観づくり」に基づき、関係部局の施策との連携に関する取組方法等について、調査及び検討を行う。

・ 設置年月日 令和元年(2019年)10月30日

## ○今年度における庁内の関係施策との連携に関する取組経過

2019年4～5月	関係部局に景観との連携可能な事業調査
5月	「北海道の景観形成に関する庁内連携会議」を設置
6～8月	調査結果をもとに、各事業毎に内容の確認と連携内容を調整
9月2日	「庁内連携会議」を開催し、今年度の連携内容を報告
10月30日	「 <u>第47回北海道景観審議会</u> 」にて、 <u>連携内容・進捗状況を報告</u>
2020年1月15日	「 <u>令和元年度第1回景観行政と関連施策との連携に関する特別部会</u> 」 を開催

# 1 前審議会までの状況について

今年度に実施する庁内の関係部局との事業連携(10事業)につきまして、令和元年(2019年)10月30日に開催した北海道景観審議会までの取組状況等についてご報告します。

## 【連携の分類】

- (1) 会議又はセミナー等(景観に関する講義・講演等)
  - (2) 道職員向けの研修会等(景観に関する講義・講演等)
  - (3) 情報発信等(ホームページなどで、連携して情報発信)
  - (4) ガイドライン等の策定及び見直し(ガイドライン等で、景観に関する記載等)
  - (5) その他(景観との連携に関する提案等)
- ※(4)と(5)は、今年度の連携なし

## 【令和元年度の連携対象事業(10事業)】

- 10-1 海岸漂着物等地域対策推進事業
- 15-8 文化振興事業費(文化発信拠点づくり推進事業費)
- 25-1 地域がうるおう農村ツーリズム展開事業
- 31-1 治山事業
- 33-1 蘭越ニセコ倶知安線無電柱化事業(防災安全交付金)
- 38-1 高潮対策事業
- 48-1 都市公園事業
- 49-1 北の住まいるタウン普及啓発等事業
- 52-1 空き家対策推進事業
- 56-1 ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ(道民カレッジ)事業

# ○今年度の取組に関するご意見等

## 第47回北海道景観審議会(令和元年10月30日開催)

事業名等		意見等
10-1	海岸漂着物等地域対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ほっかいどう景観だより」などによる情報のリンクさせていくか必要。</li><li>・美しい海岸線をどのように維持していくのかを、審議会で注視していくことが大事。</li></ul>
15-8	文化振興事業費(文化発信拠点づくり推進事業費)	<ul style="list-style-type: none"><li>・建物を景観的にどう位置づけていくか、位置づけているものは、更に景観とリンクしてつなげていくことが必要。</li><li>・様々な地域に点在する文化資産を、重要景観建築物として指定することで事業がやりやすくなるが、指定が進んでいないため、市町村に、事業を紹介するなどの支援していくことが必要。</li></ul>
25-1	地域がうるおう農村ツーリズム展開事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・農村景観は、道にとって大変重要である。過疎化により農業人口も減っていく中、いろいろなアイデアを出し合いながら、サポートすることが重要。</li><li>・住んでいる人が、土地の景観の価値に気づいてくれるよう、専門的・客観的な目による取組が必要。</li></ul>
31-1	治山事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・どのように景観とフィットして連携できるか考えていくことを検討。</li></ul>
33-1	蘭越ニセコ倶知安線無電柱化事業(防災安全交付金)	<ul style="list-style-type: none"><li>・この他の地域に展開していくことが重要。</li><li>・景観の立場から、無電柱化によるメリットなどを説明して補強していくことが必要。</li><li>・単に電柱をなくすことだけではなく、その後の取組(歩道・道路景観、修景などの関連した事業)も実施していくことが必要であることから、今後も情報を報告すること。</li></ul>

事業名等		意見等
38-1	高潮対策事業	・当事業において、景観を1つの考えるべきプロセスとして支援。
48-1	都市公園事業	・最新情報を市町の方々に提供しつつ、どういう都市公園を考えるべきなのか話を持って行けるようにするには、どうすればいいかを議論できるいい。
49-1	北の住まいるタウン普及啓発等事業	・「防災」という新しいファクターがあり、どういう位置づけになるかを待ちながら、関係を整理して調整を図る。
52-1	空き家対策推進事業	・地域の景観というところに重要なファクターがあり、幅広の連携の検討が必要。 ・景観との関係の作り方を具体的に、アクションを起こしていくことが必要。
56-1	ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業	・景観から何か提供が出来ないか検討。
総括		<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な施策を行っていくうえで、景観の観点から市町村等へアドバイスや要請をしていかなければならず、市町村との連携が絶対に必要不可欠。</li> <li>・景観がハブとなり、分散しているものを何だかの形で連携する1つの受け皿の役割を果たすこと。</li> <li>・連携する10の事業について、次への展開や、関連による新たな施策や事業との連携を検討していくこと。</li> <li>・この連携は、ビジョンの基本方針1であり、これを推進していく中で、基本方針2、3及び4に反映していくこと。</li> </ul>



## 2 取組状況について

### (1) 会議又はセミナー等

#### ① 海岸漂着物対策推進協議会（全道・地域） 守ろう美しい北海道！海ごみ・ポイ捨て防止大会

【連携事業】 10-1 海岸漂着物等地域対策推進事業

【担当部局】 環境生活部環境局循環型社会推進課

【関係資料】 【資料2：一覧表】 【資料3：施策別】 1ページ

【事業概要】

##### 北海道海岸漂着物対策推進協議会（全道・地域）

- ・ 目的： 北海道の海岸における良好な景観と環境を保全するため、関係者が連携して海岸漂着物等の円滑な処理とその発生抑制を図ることを目的
- ・ 開催日： 令和元年(2019年)7月29日
- ・ 構成： 国やNPOなど

##### 守ろう美しい北海道！海ごみ・ポイ捨て防止大会

- ・ 目的： 毎年、テーマを設定し、海洋汚染の状況をふまえ、海ごみを減らすためにはどうすればいいのか等について、関心と理解を深め、生活環境や海岸環境の保全を進めることを目的  
※一般の方も含めたシンポジウム(年1回2月)  
国で開催する内容等を考慮し、大会内容を決定している。
- ・ 開催日： 令和2年(2020年)1月14日

【内 容】

海岸漂着物対策推進協議会（全道・地域）

■議題

- ・海岸漂着物に係る情報提供  
前年度の実績、関係部局の取組状況報告 など
- ・漂流ごみの処理体制の構築について  
漂流物処理の促進に向けた関係機関の体制等の整備のための考え方や  
処理体制の一部見直し

守ろう美しい北海道！海ごみ・ポイ捨て防止大会

- 表彰式 北海道社会貢献賞（環境衛生関係功労者）  
北海道知事感謝状（生活環境浄化実践優良地区）  
散乱防止などに関するポスター及び標語入賞者

■シンポジウム

- ・テーマ 「海ごみを減らすため、今、私たちができること」  
各団体による活動や一人ひとりの行動、連携の大切さについて意見交換
- ・コーディネイター  
北海道大学大学院工学研究院 准教授 東條 安匡 氏
- ・事例報告者  
NPO法人北海道海濱美化をすすめる會 事務局長 中根恵美子 氏  
北海道コカ・コーラボトリング株式会社  
広報・CSR推進部長 皆川 和也 氏  
積丹町住民福祉課 課長 下山 達也 氏
- ・パネルディスカッション



「海岸漂着物対策推進協議会（全道・地域）」  
「守ろう美しい北海道！海ごみ・ポイ捨て防止大会」（続き）

【内 容】

※ 今年度の「守ろう美しい北海道！海ごみ・ポイ捨て防止大会」について

・ 目的（テーマは年度毎に設定）

今年度は、近年の海洋プラスチックごみによる環境汚染が国際的な問題となっていることや、それに関連したプラスチックごみの排出抑制の取組の推進を道としても積極的に進めてきていることから、プラスチックを含む海岸に漂着するごみを減らすために、道民がどのようなことができるかといった観点から、「海ごみを減らすため、今、私たちができること」をテーマに大会を開催する。

・ 過去のテーマ

平成30年度 「海を守るために、今、私たちができること」

平成29年度 「海ごみについて考える」

平成28年度 「今回の災害に伴う流木等の発生状況や対応、海岸漂着物の傾向から、気象変動や災害発生時の備え、各自にできること」

【実施結果等】

○ 会議については、当年度に実施した事業内容を参考にして、令和2年度の連携に向けて検討を行う。

## ② 農たび・北海道ネットワーク研修会

【連携事業】	25-1 地域がうるおう農村ツーリズム展開事業
【担当部局】	農政部農村振興局農村設計課
【関係資料】	【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 3ページ
【事業概要】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目的： 農村ツーリズム（農たび・北海道）を推進するため、農泊等の実践者や関係機関・団体などを対象に研修会を開催し、地域の取組を支援するとともに、情報交換による地域間の連携強化を図る</li><li>・ 開催日： 令和元年(2019年)12月3日</li><li>・ 研修参加者： 100名程度</li><li>・ 研修対象者： 実践者等、関係機関・団体等</li></ul>
【内容】	<p><b>基調講演「北海道における農泊取組の可能性と課題について」</b></p> <p>■講師 千葉大学大学院園芸学研究科 教授 大江 靖雄 氏 (令和元年度農山漁村振興交付金評価委員会 委員長)</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 交流ビジネスの現状</li><li>・ これまでのグリーン・ツーリズムと農泊(農村ツーリズム)</li><li>・ インバウンド・DMOなどへの対応</li><li>・ 北海道における農泊の課題</li><li>・ 今後の展開の方向性と必要な支援策</li></ul>

### パネルディスカッション(道内農泊地区の事例紹介)

■パネリスト NPO法人やくも元気村 事務局長 赤井 義大 氏  
歯舞漁業協同組合 参事 中村 直樹 氏  
林ツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会 副会長 道山 マミ 氏

■コーディネーター 千葉大学大学院園芸学研究科 教授 大江 靖雄 氏

■内容 赤井氏：(八雲町) 農泊の取組と実績、今後の展開  
中村氏：(根室市) 渚泊の取組と実績、今後の展開  
道山氏：(網走市) 農泊の取組と実績、地域内連携

### 意見交換会「どんな“農たび”してみたい?地域のコンテンツを磨こう!」

■協力 札幌大谷大学  
・ファシリテーター 社会学部地域社会学科 教授 山下 成治 氏  
・アドバイザー 芸術学部美術学科 教授 堀じゅん子 氏  
准教授 島名 毅 氏  
及び生徒

■内容 ・農たび・北海道の魅力発信  
学生による「地域を元気にするアイデア」のプレゼンテーション など  
※ 農たび・北海道PRグッズ(11種)の提案等

情報提供

- 「民泊の導入による滞在型観光の推進について」 . . . 道経済部
- 「北海道の美しい農山漁村の景観について」 . . . 道建設部

【連携内容】

- **情報提供「北海道の美しい農山漁村の景観について」**  
当研修会にて、北海道の美しい農山漁村の景観への気づき、景観形成、活用に関する説明を行う。

※資料につきましては、添付しています「資料4」を参照

【実施結果等】

- 研修会のパネルディスカッションにおいて、パネリストより「地域の暮らしの価値や景観の魅力を、地域に暮らす自分たちが見いだせていない」の意見等あり。
- 次年度の連携に向けて、研修会の参加者が景観への意識を向上していただくために、具体的な取組方法などを取り入れた資料づくりや説明をしていくことが必要。

※ 次年度以降も、事業継続予定。

### ③ 海岸保全施設の新工法検討協議会

【連携事業】

38-1 高潮対策事業

【担当部局】

建設部土木局河川砂防課

【関係資料】

【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 6ページ

【事業概要】

近年、台風や低気圧が頻繁に来襲し、高波被害が発生するなどにより海岸防護の要望が多くなっている。

しかし、海岸事業の予算確保が厳しく、地域住民の要望に応えられることができていない状況である。

少ない予算の中で優先順位を考慮し整備を進めているが、要望になるべく多く対応できるよう、効果的であり経済的な海岸保全施設の工法を検討する「海岸保全施設の新工法検討協議会」を開催する予定である。

海岸事業の担当者が集まる「海岸保全施設の新工法検討協議会」において、景観を考慮するにあたり「北海道公共事業景観形成指針」に沿った海岸保全施設の工法検討を進めるための、講話をお願いしたい。

【連携内容】

○ 効果的・経済的な海岸施設の工法検討にあわせて、景観への配慮事項をどのように反映できるのか、景観審議会等からの意見をもとに検討し、担当部局と調整する。

○ 令和2年(2020年)1月現在、担当部局にて検討方法の見直しを行っている。

○ 令和2年(2020年)3月に開催を計画している会議にて、景観に関する講話の依頼を受ける予定。

## ④ 全道都市公園主管部課長会議

【連携事業】	48-1 都市公園事業
【担当部局】	建設部まちづくり局都市環境課
【関係資料】	【資料1：一覧表】      【資料2：施策別】 7ページ
【事業概要】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目的： 全道の市町の都市公園主管部課長を対象に、都市公園行政に関する情報提供等を行うもの。</li><li>・ 開催日： 令和元年(2019年)8月29日</li><li>・ 研修参加者： 70名程度</li><li>・ 研修対象者： 市町村及び振興局職員</li></ul>
【内容】	<p><b>公園事業に関する情報提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 講師 国土交通省北海道開発局</li><li>■ 内容 都市公園における最近の動向<ul style="list-style-type: none"><li>(一) 都市緑地法等の一部を改正する法律(H29.5.12成立)概要</li><li>(二) 公募設置管理制度(Park-PFI)の特徴</li><li>(三) 都市公園ストック再編事業(機能の再編・立地の再編)</li><li>(四) ガーデンツーリズムの推進</li></ul></li></ul> <p><b>都市公園の管理について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 講師 北海道建設部まちづくり局都市環境課</li><li>■ 内容 都市公園の安全管理について</li></ul> <p style="text-align: right;">等</p>

**都市公園事業の実施等について**

- 講 師 北海道建設部まちづくり局都市環境課
- 内 容 (一) 令和元年度会計検査結果について  
(二) 公園施設長寿命化計画について  
(三) 事業調整について  
(四) 災害発生時の連絡体制等について

**都市公園事業の予算等について**

- 講 師 北海道建設部まちづくり局都市環境課
- 内 容 (一) 都市公園事業予算(社会資本整備総合交付金)の動向について  
(二) 公園施設長寿命化対策について  
(三) 「北海道の公園150年記念誌」作成について

**【実施結果等】**

- 当年度に実施した事業内容を参考にして、令和2年度の連携に向けて検討する。

# ⑤ 「北の住まいるタウン」検討協議会 「北の住まいるタウン」地域協議会 「北の住まいるタウン」まちづくりセミナー

【連携事業】 49-1 北の住まいるタウン普及啓発等事業

【担当部局】 建設部まちづくり局都市計画課

【関係資料】 【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 8ページ

【事業概要】

**「北の住まいるタウン」検討協議会**

- ・有識者による助言のための会議
- ・令和元年度は、防災等新たな視点を取り入れたガイドブックの時点修正を予定
- ・年度内に開催予定

**「北の住まいるタウン」地域協議会**

- ・地域住民による協議会
- ・令和元年度は、モデル市町村として今までの取組の総括を予定
- ・年度内に開催予定

**「北の住まいるタウン」まちづくりセミナー**

- ・目的： 道内の様々な地域でも課題とされるテーマについて、道内外の先進事例に学ぶ
- ・開催日： 令和2年(2020年)1月22日
- ・定員： 50名



【内 容】

「北の住まいるタウン」まちづくりセミナー

■テーマ1 北の住まいるタウンのモデル市町村の取組

○当別町

- ・ 講師：当別町企画部まち再生室 室長 乗木 裕 氏
- ・ 内容：公共施設再編による市街地再生と地域商社による道の駅の運営  
現在策定中の立地適正化計画と学生や様々な人が集える場づくり、賑わい創出の取組を紹介 など

○鹿追町

- ・ 講師：鹿追町建設水道課 課長 大上 朋亮 氏
- ・ 内容：バイオガスプラントの取組と、しかおい100人ひらめき会議から生まれた町民プロジェクト  
バイオガスプラントで厄介ものをエネルギーに変え、余熱利用で新産業や雇用の創出につながる取組を紹介 など

→意見交換

■テーマ2 立地適正化計画等の活用による持続可能なまちづくり

○新潟県見附市

- ・ 講師：見附市建設課副主幹兼都市計画課 係長 武石 明彦 氏
- ・ 内容：「スマートウェルネスみつけ」の実現  
～都市部と村部が持続する歩いて暮らせる健幸都市～  
都市機能の集約をはかる区域で公共施設の再編、コミュニティバスによる回遊性の向上、「歩こう条例」ウォーキングロード等の歩ける環境の整備を紹介。

○兵庫県西脇市

- ・ 講師：西脇市建設水道部都市計画課 主 査 松原 正佳 氏
- ・ 内容：西脇流コンパクトシティを目指して  
～ 2 拠点の形成とつながるまち～

人口減少が進む中心市街地と新興住宅エリアを核とした2つの都市機能誘導区域と、それを囲む居住誘導区域を設定。人口減を見据えた施策や産業と連携した取組を紹介。

→意見交換

【実施結果等】

- 今年度は、「防災」の視点を加えた取組が行われている。
- 会議について、当年度実施した事業内容を確認し、令和2年度以降の連携に向けて関係を整理しながら調整を行う。

※ 次の項目（「連携の分類」）についても整理が必要であるため、令和2年度以降の連携に向けての調整とする。

(3) 情報発信等

北の住まいるタウンの取組状況（各種行事の開催状況など）や実践ガイドブックのホームページによる発信

(4) ガイドライン等の策定及び見直し

北の住まいるタウン実践ガイドブック（主に市町村職員向けの、北の住まいるタウンの考え方を実践するためのガイドブック）に防災の視点を加えた改訂を予定

## ⑥ 北海道空き家等対策連絡会議

【連携事業】

52-1 空き家対策推進事業

【担当部局】

建設部住宅局建築指導課

【関連資料】

【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 9ページ

【事業概要】

- ・ 目的：先進事例や各種施策等について、情報共有・意見交換を行う。  
(年2回程度開催予定)
- ・ 開催日：令和元年(2019年)7月24日  
令和2年(2020年)2月(予定)
- ・ 構成：道(建築指導課及び関係課)、市町村及び関係団体(宅建協会、司法書士会、建築士会等)

※「(2)道職員向けの研修会等」と同じ

【内容】

令和元年(2019年)7月24日開催

説明：空き家対策の推進のための制度等について

■講師 国土交通省北海道開発局

- 内容
- (一) 空き家の現状
  - (二) 空き家対策の概要
  - (三) 空き家対策総合支援事業
  - (四) 空き家再生等推進事業
  - (五) 全国空き家対策推進協議会について

等

講演：「小さなまちならではのニーズ先取り  
企画提案型空き家流通加速化事業について」  
（平成30年度空き家対策の担い手強化・連携モデル事業）

- 講師 下川町ふるさと開発振興公社
- 内容 (一)下川町の空き家対策の取組状況  
(二)事業の背景・概要・内容

情報提供：北海道の空き家対策について

- 講師 北海道建設部住宅局建築指導課
- 内容 (一)空き家等の活用の推進  
北海道空き家情報バンク、北海道空き家等対策連絡会議  
(二)市町村への支援  
情報収集・提供・調査研究、モデル市町村への支援、  
大規模空き建築物対策  
(三)道民への周知・啓発  
「空き家ガイドブック」による周知・啓発、  
空き家相談会の開催（札幌・旭川・函館・帯広）

【連携内容】

- 令和2年(2020年)2月に開催を計画している会議にて、景観に関する情報提供を行う予定。

## ⑦ 道民カレッジ連携講座

【連携事業】	56-1 ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業
【担当部局】	教育庁総務政策局教育政策課
【関係資料】	【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 10ページ
【事業概要】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目的： 産学官の連携による生涯学習を支援する体制の整備を図り、様々な学習機会を体系的に構築・提供することによって、道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材の育成を図る。</li><li>・ 内容： 道民カレッジの趣旨に賛同する市町村や大学、民間団体等が実施する講座やセミナーを、道民カレッジ連携講座として募集・登録し、コース別に分類して広く道民に情報提供している。</li></ul>
【実施結果等】	○ 道民カレッジの目的や要件にあうか、また委員・職員・景観整備機構等による講座を設けることが可能かなどを継続して検討を行う。



## (2) 道職員向けの研修会等

### ① 【25-1】農村ツーリズム担当行政職員等研修 【31-1】各種研修会及びセミナー

【連携事業】	25-1 地域がうるおう農村ツーリズム展開事業 31-1 治山事業
【担当部局】	25-1 農政部農村振興局農村設計課 31-1 水産林務部林務局治山課
【関係資料】	25-1 【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 3ページ 31-1 【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 4ページ
【事業概要】	25-1 農村ツーリズム担当行政職員等研修会道北・オホーツクブロック 開催：8月26日 開催場所：旭川市 農村ツーリズム担当行政職員等研修会道央・道南ブロック 開催：9月3日 開催場所：札幌市 農村ツーリズム担当行政職員等研修会道東ブロック 開催：9月18日 開催場所：釧路市  31-1 治山事業技術者の知識や技術などの向上に向けた各種研修会やセミナーを実施
【実施結果等】	○ 当年度実施した研修内容の参考にし、令和2年度の連携に向けて調整を行う。





# (3) 情報発信等

## ① 道ホームページ等による情報発信

【連携事業】	10-1 海岸漂着物等地域対策推進事業 15-8 文化振興事業費（文化発信拠点づくり推進事業費） 25-1 地域がうるおう農村ツーリズム展開事業 48-1 都市公園事業 52-1 空き家対策推進事業
【担当部局】	10-1 環境生活部環境局循環型社会推進課 15-8 環境生活部文化局文化振興課 25-1 農政部農村振興局農村設計課 48-1 建設部まちづくり局都市環境課 52-1 建設部住宅局建築指導課
【関係資料】	10-1 【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 1ページ 15-8 【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 2ページ 25-1 【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 3ページ 48-1 【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 7ページ 52-1 【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 9ページ
【事業概要】	10-1 市町村及び地域NPOの構成員等に対し、海岸漂着物対策推進協議会等の中で、関係機関の取組内容や事業実施状況等について情報提供。 15-8 道民共有の貴重な財産である赤れんが庁舎を、北海道の多様な文化芸術活動の発表の場などの文化の発信拠点として活用を図るため道HPで掲載。 25-1 農村ツーリズム（農たび・北海道）の取り組みに関心を持ってもらうため、ロゴマークやポスターによるPRや農たびfacebookにより関連情報を発信。

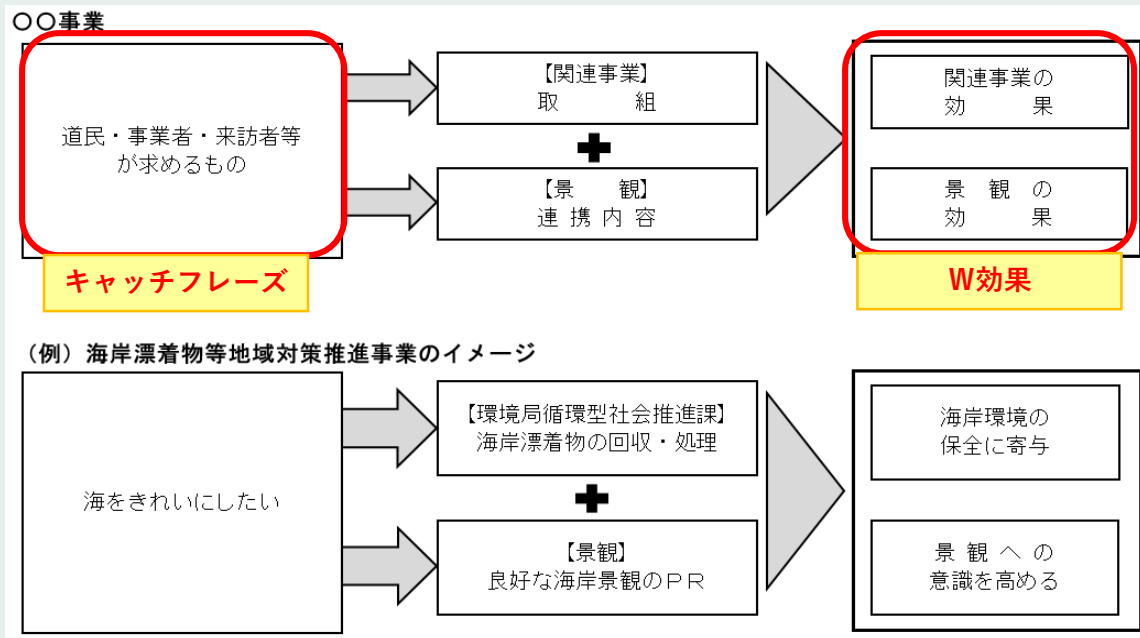
# ① 道ホームページ等による情報発信

## 【事業概要】

- 48-1 パネル展：年に1度、道立都市公園や北の造園遺産について、道庁1階ロビーでパネル展を実施。
- 52-1 空き家の適正管理等を記載した「空き家ガイドブック」を作成し、市町村の窓口等を通して配付するとともに、建築指導課のホームページ等を活用して周知。

## 【連携内容】

- 相互に事業をPRできる普及啓発チラシの検討を行っており、チラシ及び情報の発信方法（案）が用意でき次第、関係部局との調整を行う。  
**【チラシのイメージ】・・・検討案資料：別添「資料5」のとおり**



- パネルについては、普及啓発チラシをベースにしてデザインを検討する。

## 【実施結果等】

- 相互に事業をPRできる普及啓発チラシに作成及びホームページ等による情報の発信方法を整理し、令和2年度の連携に向けて調整等を行う。

## ② 道民カレッジ連携講座

【連携事業】	56-1 ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業
【担当部局】	教育庁総務政策局教育政策課
【関係資料】	【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 10ページ
【事業概要】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目的： 産学官の連携による生涯学習を支援する体制の整備を図り、様々な学習機会を体系的に構築・提供することによって、道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材の育成を図る。</li><li>・ 内容： 道民カレッジのホームページやSNS等を活用し、連携講座等の情報を広く発信している。</li></ul>
【実施結果等】	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域生涯学習活動実践交流セミナー（令和2年2月13～14日実施）のパネル展示に「景観学習」に関するパネル展示を依頼する方向で調整を行う。</li><li>○ 道民カレッジのホームページやSNS等との情報発信に係る連携については、「道民カレッジ連携講座」の整理と併せて検討する。</li></ul>



## (4) その他

### ① 無電柱化事業

【連携事業】	33-1 蘭越ニセコ倶知安線無電柱化事業（防災安全交付金）
【担当部局】	建設部土木局道路課
【関係資料】	【資料1：一覧表】 【資料2：施策別】 5ページ
【事業概要】	・ 景観法に基づく景観地区内における道路の無電柱化を実施。
【連携内容】	<p>当事業は、「北海道景観形成ビジョン」の「基本方針1：関係施策等との連携によりめざす良好な景観づくり」に該当する事業</p> <p>※「北海道公共事業景観形成指針に沿って推進する良好な景観づくり」の「無電柱化による景観の保全を促進」</p>
【実施結果等】	○ 蘭越ニセコ倶知安線無電柱化事業については、今年度、事業終了であるが、次年度以降についても、無電柱化事業に関する情報を収集に努める。